

ICT・IoTを活用した高齢者等見守りシステム・サービスによる  
見守りネットワーク構築のための実証事業に関するアンケートについて

■機器・システム・サービス概要		類型	検索システム
事業者名	バーン合同会社	所在地	東京都大田区北糞谷2-15-6
機器・システム・サービス名称	見守りますクラウド	URL	 <a href="https://bhan.tokyo/cloud/">https://bhan.tokyo/cloud/</a>  <a href="https://youtube.be/H3DC9PSrke0">https://youtube.be/H3DC9PSrke0</a>
概要	個人情報を使わず、システムを介してQRコードで通報を行う自治体向け「見守り」製品です。一人歩きで迷子になった時に、発見者や警官がQRコード付アクセサリーをスマホでスキャンするだけで家族・自治体に一斉通報します。通報者は徘徊した家族や自治体に名前・電話番号・メアドを公開せずに通報出来ます。通報受信後事前登録者は二段階認証でログインするので事前にパスワードを記憶する必要がありません。いざという時にログイン出来ないという初歩的な問題を全て考慮済み、セキュアな環境で通報者と家族でチャットが出来ます。引取り完了ボタンを押下し関係者全員に「完了通知」が送信されます。		
仕様	ブラウザで動作しマルチデバイス対応、カメラ機能のついたAndroid,iOSのスマホ、タブレット全機種対応。自治体側はパソコンも低スペックで十分で、ご担当者のパソコンからログインして利用出来ます。通報者もブラウザでアクセスするので事前のアプリのインストールが不要です。	料金	初期費用 ¥300,000
機能	機能の全てをクラウドに持たせ、役所のパソコン管理画面上でインシデント確認が可能です。また通報を視覚化し包括支援センター担当者等をスタッフ登録し、閲覧権限も設け共有度を広くしております	運用費用	¥700,000～（年間保守費用込、人口比により年間費用が従量加算になりますのでご相談ください）
		その他	システム以外でのコールセンターなどの有人対応可。また別途QRアクセサリーが必要になりますのでご相談下さい

■特徴・サービス内容（製品イメージ、サービスの流れなど、分かりやすい画像を貼り付けてください）



見守りますクラウド



各種豊富なアクセサリー

- みまもりキーホルダー
- 見守りますPINZ
- 見守りますボタン (田Helpme)

通報から解決まで



1分で通報  
3分で関係者全員にチャットでメッセージができます

■自治体導入実績

自治体名	導入概要
なし	2023年春、東京都大田区（人口72万人）で導入準備中。また提携協業している「みまもりキーホルダー」の導入自治体30箇所（新宿、渋谷、板橋、港区他）に検証導入アプローチを2023年6月から順次開始します

■実証事業の手法

手法 対象件数	貸与申込書をご記入いただきID/Passとアクセサリー（最大50～100個）を無償提供します。自治体側は管理者1名が必要。利用者は「代表登録者」を決めた上でスマホより事前登録が必要です。最大対象登録件数は1万人です。介護認定がなくてももしもの備えで利用可能です。	実証期間 (予定)	3か月～最大6か月
自治体負担経費	50個までは無料、それ以降お買上げになります。アクセサリーによりますが1個300円～500円が必要となります。キーホルダータイプのみ弊社が指定する固定IDにて検証であれば100個まで無料提供します。送付は一括で行い、その後の配布は各自体にお任せいたします。		

■その他（ご意見・ご要望など）

一人歩きの行方不明だけでなく、若年性認知症の対応も可能です（ご本人が通報する形になります）クラウドに機能を集中させたのでアクセサリーは単なる「アイコン」ではありません。GPS機能もないので充電不要→ずっとつけたままでOK 防水不要→洗濯してもOK またボタン型なら外さずに洗濯OKです。紛失しても別の新規のアクセサリーに交換するのでシステムの再登録は不要です。不測の事態を考慮し介護認定前の方でもご提供が可能です。9割は最終的に警察に引き渡すので、警官がまずこのQRを探してもらい、所有を確認の上通報し引取りまでのプロセスを大幅に簡略化します。徘徊しても出歩ける文化をつくりたいと思います。2022年5月首都圏を中心に10年以上自治体に導入されている「みまもりキーホルダー」の株式会社クラフトワークスと提携しました。街全体を自分事と捉えて対応する文化の創成が必要と思い、SmartCityをベースにみまもりと移動体の事業展開をおこなっております。 検証のみならず自治体の皆様とのご意見ご要望、情報交換などもお待ちしております mail : miku@bhan.tokyo ※現在ご利用の徘徊製品がある場合でも、「見守りますクラウドと連携が可能ですのでご相談ください。例えば現状はQRシール配布している自治体が、「見守りますクラウド」を連携することでデジタルシステムに進化でき、受信時間、対応時間、連絡工数などが大幅に削減します。